

2009年11月20日

報道関係者各位

トレンド調査 — 勤労感謝の日にあわせて、「通勤」の実態を調査 —

都内に勤める1都3県在住の20～50代既婚サラリーマン

通勤時間（片道）の平均は「1時間00分」、理想は「34分」。
“持家”に住んでいる人は若い世代ほど通勤時間が短い。

不動産総合情報サービスのアットホーム株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：松村 文衛）は、「勤労感謝の日」に合わせ、20～50代の既婚男性サラリーマン600名に対し、「通勤」の実態に関する調査を行いました。

今回の調査では、片道の通勤にかけている時間の平均が「1時間00分」で、“持家”に住んでいる人は若い世代ほど通勤時間が短いことなどが明らかになりました。

■「通勤」の実態に関する調査の主な結果

- 通勤時間（片道、平均）は、現在「1時間00分」、「理想」は「34分」、「限界」は「1時間28分」。
- 妻のために、あとどれくらい通勤時間が長くても耐えられるか…平均「37分」。
- “通勤1時間”の価値を金額であらわすと…平均「8,066円」。
- 会社からの“帰宅時間”は…平均「20時45分」。
- “夫婦一緒に夕食を食べる回数”…平均「3.7回/週」。

■調査概要（クローズド調査）

◆対象／1都3県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）在住で、

東京都内に勤める20～50代の既婚（妻と同居している）男性サラリーマン計600人

	合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
総数	600	100	190	190	120
(%)	100.0%	16.7%	31.7%	31.7%	20.0%

	合計	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県
総数	600	232	148	94	126
(%)	100.0%	38.7%	24.7%	15.7%	21.0%

◆調査方法／ モバイルリサーチ（携帯電話を使ったインターネット調査）

◆調査期間／2009年11月11日（水）～11月13日（金）

～調査結果～

■主な通勤手段、1位は「電車」で66.8%、次いで「自動車」が21.3%

「あなたの主な通勤手段は？」(複数利用の場合は最も移動時間の長いもの)

	合計	電車	バス	自動車	バイク	自転車	徒歩	その他
総数	600	401	7	128	16	23	24	1
(%)	100.0%	66.8%	1.2%	21.3%	2.7%	3.8%	4.0%	0.2%

■通勤時間の平均(片道)は、現在「1時間00分」、理想は「34分」、限界は「1時間28分」。 現実と理想が同じ、あるいは理想の方が長いケースもあり、 サラリーマンにとって「通勤時間」は自由に使える貴重な時間かも!?

	現実	理想	限界
時間(平均)	1時間00分	34分	1時間28分

「現在の通勤時間」の平均

	20代	30代	40代	50代
賃貸	56分	58分	62分	55分
持家	53分	58分	59分	68分

●「自宅から会社までの通勤時間は？」 → 最短0分～最長2時間30分

“持家”に住んでいる人は若い世代ほど通勤時間が短い

現在の片道通勤時間は、最短0分から最長2時間30分までさまざま、平均は1時間丁度でした。また、賃貸・持家別に調べたところ、持家では20代と50代で15分もの差が出ており、不動産価格の下落により、最近購入したと思われる若い世代ほど都心に近い物件に住めるようになってきていることがうかがえます。

●「自宅から会社までの理想の通勤時間は？」 → 最短0分～最長1時間30分

理想の通勤時間を聞いたところ、最短0分から最長1時間30分まであり、平均は「34分」に。そのうち「0分」という回答は僅かで、ホームオフィス(在宅勤務)は必ずしも理想ということではなさそうです。また、現状と理想が同じだったり、理想の方が長かったりする場合もあり、サラリーマンにとって“通勤時間”は“痛勤”ばかりではなく、一人で自由に使える貴重な時間なのかもしれません。

●「自宅から会社までの通勤にかけられる時間の限界は？」 → 最短15分～最長3時間

一方、通勤時間の限界については、最短が15分、最長は3時間で、平均は「1時間28分」。「3時間」という回答は30代の人に多く見られました。

■妻のために、あとどれくらい通勤時間が長くても耐えられるか…、平均「37分」は、長い？短い？

- 「もしもあなたの妻が、現在の住まいよりも、通勤時間がかかる場所へ引っ越したいと言ったら、妻のためだけに、あとどれくらい通勤時間が長くても耐えられますか？」 → 最短0分～最長2時間

これは、夫婦仲が大きく影響すると思われる設問ですが、結果は最短0分から最長2時間までさまざま。ちなみに、「0分」と答えたのは、20代・8人(8.0%)、30代・9人(4.7%)、40代・11人(5.8%)、50代・7人(5.8%)で、全体では5.8%。逆に言えば、94.2%の人が「妻のためなら多少通勤時間が長くなっても我慢できる」と考えているようです。平均は「37分」となりましたが、はたして当の奥様はどのように感じられるのでしょうか。

■“通勤1時間”の価値を金額であらわすと、最も多い回答は「1,000円」、平均は「8,066円」に。

- 「通勤時間“1時間”をお金の価値に代えたとしたら？」 → 最低0円～最高12万円

上位5位までの回答(割合)	
1	1,000円 (17.2%)
2	3,000円 (15.5%)
3	5,000円 (15.3%)
4	2,000円 (14.7%)
5	10,000円 (13.2%)

通勤時間“1時間”の価値を聞いたところ、最も多い回答は「1,000円」で17.2%、以下、僅差で「3,000円」「5,000円」と続き、1万円以下が9割以上を占め、平均は8,066円でした。

■会社からの“帰宅時間”は、平均「20時45分」。

■“夫婦一緒に夕食を食べる回数”は、平均「3.7回/週」。

- 「1週間のうち、夫婦一緒に夕食を食べる回数は？」

「7回」と回答した人の割合	20代	30代	40代	50代	平均
	19.0%	14.7%	19.5%	14.2%	16.8%

1週間のうち、夫婦一緒に夕食を食べる回数を聞いたところ、「7回」(毎日)という回答が全体の16.8%に。平均帰宅時間が20時台とはいえ、20代・40代は2割近くが毎日奥様と仲良く？夕食をとっています。愛妻家が多いのか、それともこのご時世、節約のためなのでしょう。なお、平均は「3.7回/週」という結果でした。